

2018年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月11日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 定時株主総会開催予定日 2018年11月28日 配当支払開始予定日 2018年11月29日
 有価証券報告書提出予定日 2018年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期の連結業績(2017年9月1日~2018年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期	5,430	9.8	837	4.6	849	6.4	558	29.1
2017年8月期	4,943	19.0	800	39.8	797	37.8	432	24.4

(注) 包括利益 2018年8月期 685百万円(47.1%) 2017年8月期 465百万円(37.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年8月期	13.79	13.53	18.8	15.5	15.4
2017年8月期	10.72	10.30	17.3	18.8	16.2

(参考) 持分法投資損益 2018年8月期 18百万円 2017年8月期 11百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年8月期	6,518	3,268	49.9	80.38
2017年8月期	4,439	2,712	60.8	66.65

(参考) 自己資本 2018年8月期 3,255百万円 2017年8月期 2,698百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年8月期	433	△353	591	2,928
2017年8月期	1,044	△298	△204	2,262

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年8月期	—	0.00	—	3.30	3.30	133	30.8	5.3
2018年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60	145	26.1	4.9
2019年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2019年8月期(予想) 配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	7,681	41.4	100	△88.1	117	△86.2	79	△85.8	1.96

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年8月期	44,390,400株	2017年8月期	44,390,400株
② 期末自己株式数	2018年8月期	3,883,274株	2017年8月期	3,904,000株
③ 期中平均株式数	2018年8月期	40,497,625株	2017年8月期	40,377,432株

(参考) 個別業績の概要

2018年8月期の個別業績（2017年9月1日～2018年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期	4,056	36.3	703	4.5	793	2.3	560	24.2
2017年8月期	2,975	25.0	673	32.5	776	27.7	451	14.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2018年8月期	13.85		13.58					
2017年8月期	11.18		10.75					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2018年8月期	6,509		3,547		54.4	87.42		
2017年8月期	4,419		2,986		67.4	73.57		

(参考) 自己資本 2018年8月期 3,540百万円 2017年8月期 2,978百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2018年10月12日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2018年8月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における飛躍的な成長」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

「出前館ファンの急拡大に向けた積極的な投資」につきましては、テレビCMをはじめとした認知度向上のための施策を推進し、新規ユーザーの獲得に努めてまいりました。また、ユーザーの定着化及び利用頻度を高めるための施策として、3回注文の促進施策、『出前館』独自のロイヤリティプログラム「出前にゃんクラブ」の導入を実施しました。また、2018年8月24日よりLINE Pay及び携帯キャリア決済を開始しました。

「市場拡大に向けた店舗開拓」につきましては、シェアリングデリバリー®の拡大を本格化させ、当期末時点で60拠点となり、前期末の10拠点からサービス提供エリアを大きく広げ、関西地方及び東海地方にも進出しました。また、配達代行サービスの提供により、各地域における人気店の新規加盟が順調に拡大しました。

「店舗オペレーションの改善に向けた施策」につきましては、2017年10月にリリースした「出前館オーダー管理アプリ」の加盟店舗への導入を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は5,430,796千円（前期比9.8%増）、営業利益は837,299千円（前期比4.6%増）、経常利益は849,035千円（前期比6.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は558,602千円（前期比29.1%増）となりました。

区分	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)		当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	339,613	6.9	409,727	7.5	70,114	20.6
オーダー手数料	1,938,233	39.2	2,634,411	48.5	696,178	35.9
広告収入	33,262	0.7	17,948	0.3	△15,314	△46.0
システム受託開発	38,552	0.8	53,439	1.0	14,887	38.6
その他	604,484	12.2	962,516	17.7	358,032	59.2
小計 (当期ベース)	2,954,145	59.8	4,078,043	75.1	1,123,897	38.0
デリズ影響額(注)	509,521	10.3	—	—	△509,521	△100.0
連結範囲の変更に 伴う影響額(注)	35,594	0.7	—	—	△35,594	△100.0
小計 (前期調整後)	3,499,261	70.8	4,078,043	75.1	578,782	16.5
通信販売事業	1,444,683	29.2	1,352,752	24.9	△91,931	△6.4
合計	4,943,945	100.0	5,430,796	100.0	486,850	9.8

(注) 当社連結子会社であった㈱デリズは、前第3四半期連結会計期間で株式を売却したことに伴い連結子会社でなくなっておりますが、前連結会計年度の出前館事業に含まれておりました㈱デリズの影響額を「デリズ影響額」と記載する一方、連結範囲の変更に伴う影響額を「連結範囲の変更に伴う影響額」として記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<出前館事業>

出前館事業セグメントにおきましては、当連結会計年度末におけるアクティブユーザー数は約269万人（前期比14.1%増）となりました。また、加盟店舗数は17,207店舗（前期比12.3%増）、オーダー数に関しましては約2,332万件（前期比35.0%増）となっております。その結果、当連結会計年度の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費409,727千円、オーダー手数料2,634,411千円、広告収入17,948千円、システム受託開発53,439千円、その他962,516千円、セグメント売上高は4,078,043千円（前期比16.5%増）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間に株式を売却した㈱デリズの売上の影響を除くと、当連結会計年度のセグメント売上高は前年同期比38.0%増となりました。

<通信販売事業>

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けの通信販売を行い、当連結会計年度の売上高は、1,352,752千円（前期比6.4%減）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で1,772,894千円増加し、5,292,767千円となりました。主な要因は、未収入金が1,128,670千円、現金及び預金が665,414千円増加した一方、受取手形及び売掛金が57,580千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で306,780千円増加し、1,225,967千円となりました。主な増減の要因は、ソフトウェアが141,930千円、投資有価証券が152,094千円、差入保証金が51,998千円、建物及び構築物が20,835千円増加した一方、のれんが68,655千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で2,079,675千円増加し、6,518,735千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で1,466,620千円増加し、3,164,636千円となりました。主な増減の要因は、短期借入金が800,000千円、未払金が778,905千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が71,447千円、未払法人税等が41,718千円、支払手形及び買掛金が12,851千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で56,896千円増加し、85,168千円となりました。主な増減の要因は、長期借入金が4,008千円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で1,523,516千円増加し、3,249,805千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で556,159千円増加し、3,268,929千円となりました。主な増減の要因は、親会社株主に帰属する当期純利益を558,602千円、自己株式の処分2,636千円を計上した一方、剰余金の配当133,605千円を支出したほか、その他有価証券評価差額金を130,348千円計上したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,928,218千円となり、前連結会計年度末と比較して665,414千円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、433,133千円（前連結会計年度は1,044,682千円の増加）となりました。主な増減の内訳は、税金等調整前当期純利益840,091千円に加えて、未収入金の増加1,127,205千円、未払金の増加745,207千円、法人税等の支払額281,758千円、減価償却費175,706千円、のれん償却額68,555千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、353,089千円（前連結会計年度は298,125千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、無形固定資産の取得による支出267,340千円、有形固定資産の取得による支出76,250千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、591,246千円（前連結会計年度は204,551千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、短期借入れによる収入800,000千円、長期借入金の返済による支出75,455千円、自己株式の取得による支出146千円、自己株式の処分による収入3,494千円、配当金の支払額133,850千円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年8月期	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期
自己資本比率	66.8	68.8	57.0	60.8	49.9
時価ベースの自己資本比率	228.8	375.0	462.2	1,499.4	2,078.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.8	0.5	0.9	0.1	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	90.7	145.2	147.0	55.2	836.4

- ・自己資本比率：自己資本/総資産
 - ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
 - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー
 - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い
1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社グループでは、当社のメインビジネスである「出前館事業」における市場シェア拡大に向けた取り組みを継続的に行っております。昨年より本格稼働いたしましたシェアリングデリバリー®をスピーディーに水平展開していくとともに、アクティブユーザー数の獲得を増やしていくことが重要と判断しました。短期的な利益よりも、中長期的なビジネススケールを重視すべきと考え、積極的な投資を行なってまいります。

以上の結果、2019年8月期の連結業績予想は、売上高7,681百万円（前期比41.4%増）、営業利益100百万円（前期比88.1%減）、経常利益117百万円（前期比86.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益79百万円（前期比85.8%減）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、経営効率の改善を図ることにより企業価値を高め、株主の皆様に対して継続的かつ安定的に利益還元を図ることを基本方針と位置付け、将来に向けた積極的な投資を行いつつも、配当性向は30%を目安とする一方、安定的に継続して実施することも目指しております。

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本的な方針としております。なお、会社の業績に応じた株主の皆様への利益還元を柔軟に実施するため、当社は「毎年2月末日を基準日として、取締役会の決議をもって、株主または登録株式質権者に対し、中間配当として剰余金の配当を行うことができる」旨を定款に定めており、これらの剰余金の配当については、期末配当は株主総会、中間配当は取締役会を決定機関としております。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり3円60銭とさせていただきます予定であります。

(配当予想が困難な理由)

経営成績、財政状態、配当性向及び将来の事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案しつつ、機動的に判断しているため、次期の配当予想については記載していません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの多くの利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当連結会計年度 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,262,804	2,928,218
受取手形及び売掛金	407,735	350,154
商品及び製品	58,097	61,238
未収入金	736,208	1,864,879
繰延税金資産	22,637	22,808
その他	36,114	69,364
貸倒引当金	△3,725	△3,897
流動資産合計	3,519,872	5,292,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,358	77,094
減価償却累計額	△25,276	△27,176
建物及び構築物（純額）	29,081	49,917
土地	64	64
その他	135,022	179,208
減価償却累計額	△85,356	△106,334
その他（純額）	49,665	72,873
有形固定資産合計	78,811	122,855
無形固定資産		
ソフトウェア	446,235	588,166
ソフトウェア仮勘定	5,818	16,015
のれん	68,655	—
その他	138	138
無形固定資産合計	520,848	604,320
投資その他の資産		
投資有価証券	196,285	348,380
差入保証金	62,592	114,590
繰延税金資産	37,888	7,634
その他	23,271	28,431
貸倒引当金	△510	△244
投資その他の資産合計	319,527	498,792
固定資産合計	919,186	1,225,967
資産合計	4,439,059	6,518,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当連結会計年度 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,812	98,960
短期借入金	—	800,000
1年内返済予定の長期借入金	75,455	4,008
未払金	1,206,615	1,985,520
未払法人税等	151,950	110,232
賞与引当金	25,674	32,662
その他	126,509	133,252
流動負債合計	1,698,016	3,164,636
固定負債		
長期借入金	7,642	3,634
その他	20,630	81,534
固定負債合計	28,272	85,168
負債合計	1,726,289	3,249,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	634,703	637,340
利益剰余金	1,388,457	1,813,455
自己株式	△469,316	△466,962
株主資本合計	2,667,146	3,097,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,293	157,641
為替換算調整勘定	3,976	1,043
その他の包括利益累計額合計	31,270	158,685
新株予約権	8,280	6,637
非支配株主持分	6,073	6,472
純資産合計	2,712,770	3,268,929
負債純資産合計	4,439,059	6,518,735

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
売上高	4,943,945	5,430,796
売上原価	1,720,459	2,020,363
売上総利益	3,223,486	3,410,432
販売費及び一般管理費	2,422,827	2,573,133
営業利益	800,658	837,299
営業外収益		
受取利息	957	59
受取配当金	1,953	2,442
持分法による投資利益	11,261	18,985
助成金収入	2,800	—
その他	3,436	2,789
営業外収益合計	20,409	24,276
営業外費用		
支払利息	18,843	652
租税公課	—	7,425
為替差損	451	2,892
その他	3,818	1,569
営業外費用合計	23,113	12,540
経常利益	797,954	849,035
特別利益		
関係会社株式売却益	5,854	—
固定資産売却益	—	4,416
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	5,854	4,417
特別損失		
固定資産売却損	520	—
固定資産除却損	72,188	777
減損損失	36,721	11,824
その他	3,510	758
特別損失合計	112,941	13,360
税金等調整前当期純利益	690,867	840,091
法人税、住民税及び事業税	273,878	248,234
法人税等調整額	△13,249	33,828
法人税等合計	260,629	282,063
当期純利益	430,237	558,028
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,421	△573
親会社株主に帰属する当期純利益	432,659	558,602

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
当期純利益	430,237	558,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,074	130,348
為替換算調整勘定	1,486	△3,116
その他の包括利益合計	35,560	127,232
包括利益	465,798	685,261
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	467,795	686,017
非支配株主に係る包括利益	△1,997	△756

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,113,300	614,580	1,056,672	△463,648	2,320,905
当期変動額					
剰余金の配当			△100,874		△100,874
親会社株主に帰属する当期純利益			432,659		432,659
自己株式の取得				△28,941	△28,941
自己株式の処分		20,123		23,273	43,397
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	20,123	331,785	△5,668	346,240
当期末残高	1,113,300	634,703	1,388,457	△469,316	2,667,146

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△6,780	2,914	△3,866	16,774	8,071	2,341,884
当期変動額						
剰余金の配当						△100,874
親会社株主に帰属する当期純利益						432,659
自己株式の取得						△28,941
自己株式の処分						43,397
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	34,074	1,062	35,136	△8,494	△1,997	24,644
当期変動額合計	34,074	1,062	35,136	△8,494	△1,997	370,885
当期末残高	27,293	3,976	31,270	8,280	6,073	2,712,770

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,113,300	634,703	1,388,457	△469,316	2,667,146
当期変動額					
剰余金の配当			△133,605		△133,605
親会社株主に帰属する当期純利益			558,602		558,602
自己株式の取得				△146	△146
自己株式の処分		2,636		2,500	5,137
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	2,636	424,997	2,353	429,988
当期末残高	1,113,300	637,340	1,813,455	△466,962	3,097,134

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	27,293	3,976	31,270	8,280	6,073	2,712,770
当期変動額						
剰余金の配当						△133,605
親会社株主に帰属する当期純利益						558,602
自己株式の取得						△146
自己株式の処分						5,137
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	130,348	△2,933	127,415	△1,643	399	126,171
当期変動額合計	130,348	△2,933	127,415	△1,643	399	556,159
当期末残高	157,641	1,043	158,685	6,637	6,472	3,268,929

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	690,867	840,091
減価償却費	181,454	175,706
のれん償却額	132,764	68,555
株式報酬費用	3,265	—
減損損失	36,721	11,824
固定資産除却損	72,188	777
固定資産売却損益 (△は益)	520	△4,416
関係会社株式売却損益 (△は益)	△5,854	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,510	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,693	△94
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,381	6,988
受取利息及び受取配当金	△2,910	△2,501
為替差損益 (△は益)	383	2,892
支払利息	18,843	652
持分法による投資損益 (△は益)	△11,261	△18,985
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,564	57,846
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,542	△3,371
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,125	△12,851
未収入金の増減額 (△は増加)	△334,444	△1,127,205
未払金の増減額 (△は減少)	578,459	745,207
その他	74,387	△30,619
小計	1,342,434	710,496
利息及び配当金の受取額	4,902	4,911
利息の支払額	△18,919	△516
法人税等の支払額	△283,735	△281,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044,682	433,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,988	△76,250
無形固定資産の取得による支出	△263,806	△267,340
固定資産の売却による収入	—	4,500
投資有価証券の売却による収入	—	51,538
貸付けによる支出	△430	—
貸付金の回収による収入	757	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△98,919
敷金及び保証金の回収による収入	—	47,514
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△11,457	—
資産除去債務の履行による支出	—	△7,560
その他	△3,199	△6,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,125	△353,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	800,000
長期借入金の返済による支出	△104,844	△75,455
自己株式の取得による支出	△28,941	△146
自己株式の処分による収入	31,882	3,494
配当金の支払額	△101,041	△133,850
その他	△1,607	△2,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,551	591,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	999	△5,876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	543,006	665,414
現金及び現金同等物の期首残高	1,719,798	2,262,804
現金及び現金同等物の期末残高	2,262,804	2,928,218

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「出前館事業」及び「通信販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「出前館事業」は、主に宅配・デリバリー専門サイトの運営を行っており、「通信販売事業」は、主に高品質な焼酎を中心に、飲食店向けに通信販売する事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,499,261	1,444,683	4,943,945	—	4,943,945
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	152,706	152,706	△152,706	—
計	3,499,261	1,597,390	5,096,652	△152,706	4,943,945
セグメント利益	854,275	258,923	1,113,198	△312,540	800,658
セグメント資産	3,624,074	910,164	4,534,238	△95,179	4,439,059
セグメント負債	1,441,855	379,612	1,821,468	△95,179	1,726,289
その他の項目					
減価償却費	171,178	10,276	181,454	—	181,454
のれんの償却額	29,930	102,833	132,764	—	132,764
持分法適用会社への投資額	43,091	—	43,091	—	43,091
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	235,503	25,260	260,763	—	260,763

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△312,540千円は、報告セグメントの減価償却費△181,454千円及びのれん償却額△132,764千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△95,179千円は、セグメント間取引消去△95,179千円であります。

(3) セグメント負債の調整額△95,179千円は、セグメント間取引消去△95,179千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,078,043	1,352,752	5,430,796	—	5,430,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	199,932	199,932	△199,932	—
計	4,078,043	1,552,685	5,630,728	△199,932	5,430,796
セグメント利益	863,296	218,264	1,081,561	△244,261	837,299
セグメント資産	5,791,999	747,340	6,539,340	△20,605	6,518,735
セグメント負債	3,021,795	248,614	3,270,410	△20,605	3,249,805
その他の項目					
減価償却費	161,527	14,178	175,706	—	175,706
のれんの償却額	—	68,555	68,555	—	68,555
持分法適用会社への投資額	58,201	—	58,201	—	58,201
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	351,308	26,225	377,534	—	377,534

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△244,261千円には、報告セグメントの減価償却費△175,706千円及びのれん償却額△68,555千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△20,605千円は、セグメント間取引消去△20,605千円であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△20,605千円は、セグメント間取引消去△20,605千円であります。
2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	合計
外部顧客への売上高	3,499,261	1,444,683	4,943,945

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	合計
外部顧客への売上高	4,078,043	1,352,752	5,430,796

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
減損損失	35,951	770	—	36,721

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
減損損失	11,824	—	—	11,824

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位:千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
当期償却額	29,930	102,833	—	132,764
当期末残高	100	68,555	—	68,655

※当連結会計年度において、連結子会社であった(株)デリズの株式を売却しており、これにより出前館事業ののれんが405,760千円減少しております。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	68,555	—	68,555
当期末残高	—	—	—	—

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
1株当たり純資産額	66.65円	80.38円
1株当たり当期純利益	10.72円	13.79円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	10.30円	13.53円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当連結会計年度 (2018年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,712,770	3,268,929
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	14,354	13,110
(うち新株予約権(千円))	(8,280)	(6,637)
(うち非支配株主持分(千円))	(6,073)	(6,472)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,698,416	3,255,819
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	40,486,400	40,507,126

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)	当連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	432,659	558,602
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	432,659	558,602
期中平均株式数(株)	40,377,432	40,497,625
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,628,827	790,340
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。